

# 施政方針(抄)

## まちづくりの3つの方向性

### (個性的なまちをつくる)

長崎市は、特異な歴史の中で独特の文化を育んできたまちであり、オリジナル性の高い資源を数多く持っています。近年の7町との合併により、自然を含む魅力的な資源はさらに増えることにもなりました。長崎独自の価値の高い資源を一つずつ整備し、来訪する皆様に提供する「長崎化」の作業は、一步一步着実に成果を挙げてきています。市民のまちへの関心や観光への参画意識も高まってきました。今後は、景観やデザイン、快適性などまちの質を高める作業にも取り組む必要があります。平和都市ナガサキとしての使命を果たすことも、いうまでもなく重要です。こういった取り組みを一つ一つ重ねていきます。

### (暮らしやすいまちをつくる)

全国画一のルールでは解決できない多様な課題が増える中、市は住民に最も近い行政として、現場で起きている課題を見つけ、持っている資源を有効に使って解決方法を組み立て、それを実行して成果を挙げることを期待されています。到来しつつある“新しい地方の時代”に福祉や教育、地場産業など、様々な身近な分野でしっかりと市民の皆様の負託に応えていきます。

### (みんなでまちをつくる)

現実には行政は万能ではなく、今も自治会などの地縁組織が多くの地域の課題を解決してくれます。NPOなどの特定のテーマで社会と関わろうとする人たちも増えてきました。一方、このような社会的課題の解決に自治会と大学、NPO同士、企業と地域などいくつかの主体が力を合わせて取り組む“協働”の事例も増えてきました。長崎市は今、この方向を目指して試行錯誤を繰り返しながら、ノウハウを蓄積し、ネットワークを広げています。それぞれに自立した個人やグループが、必要な時に力を合わせ、様々な問題に対してより柔軟で、課題解決力の高いまちを目指しています。

施政方針・・・市長のこの一年の施政運営の基本方針や政策をまとめたもの。

### 一般質問

2月定例会では、2月26日から3月5日までの5日間にわたって、会派代表質問(6人)及び個人質問(13人)が行われました。

会派代表質問については会派ごとに2項目、個人質問については議員ごとに1項目、合計25項目を掲載しています。

### (会派代表質問)

### 市民クラブ

### 地域医療のあり方について

#### 問

野母崎病院の診療体制が縮小されている状況の中、長崎市の地域医療を確立していくため、市内にプロジェクトチームを作り、地域医療を構築していく努力をしてほしいと考えるが、そのような組織を作る考えはないのか。

#### 答

合併地区における医師の確保など、行政としてもこれまで以上に地域医療体制の確保に取り組んでいく必要があると認識している。本年4月に市の福祉保健部に専任のスタッフを配置し、県や大学病院と連携しながら諸課題の解決に向け取り組んでいきたい。

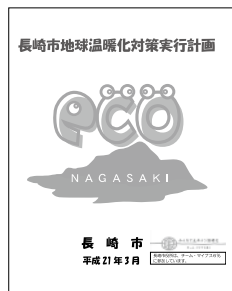
### 環境行政について

#### 問

国は、温室効果ガス排出量削減の中期目標として、2020年度までに1990年比で25%削減することを表明したが、これをどのように今後の本市の施策に反映するのか伺いたい。

#### 答

平成21年3月に市全体の温室効果ガス排出削減のため、長崎市地球温暖化対策実行計画を策定し、現在、計画の具現化に向け重点項目を選定した。今年10月にエコライフウィークを設け、10万人規模の市民の環境行動の呼び掛けや啓発イベントを盛り込み実施していきたい。



長崎市地球温暖化対策実行計画冊子

### 自由民主党

### 長崎大学病院との連携について

#### 問

医師確保は、地域医療全体に関係する重要な課題である。このようなか、長崎大学病院と連携を図り、医師を派遣してもらうことが必要不可欠であると考え。地域医療を担